

ごみを減らす4つのRで

ふるさとの自然環境との共生をめざします

# つなげよう、 支えよう 木里川海

泉北環境整備施設組合は  
このプロジェクトに賛同しています



泉大津市 大津川



和泉市 里山風景



泉北環境整備施設組合は  
3市の環境事業に取り組む一部事務組合です



高石市 高師浜



泉北環境整備施設組合

TEL 0725-41-2030

大阪府高石市取石6丁目9番40号

# “ふるさとの<sup>ホホ</sup>里川海”を未来に引き継ぐ第一歩は “ごみを減らす4つのR”の取組から

ごみを燃やす時に出る二酸化炭素は、地球温暖化の原因のひとつとされています。温暖化は異常気象を引き起こし、自然環境や動植物に大きな影響を与えます。

泉北環境整備施設組合が取り組む、ごみになるものの受け取りを断る（リフューズ）・ごみとなるものを減らす（リデュース）・使えるものを再利用する（リユース）・資源に作り変えて再利用する（リサイクル）の4Rは、私たちのふるさとの自然環境や生物を守り、未来に引き継ぐことにつながっています。

とき <sup>いま</sup>  
時代を超えて現代に伝わる  
ふるさとの<sup>ホホ</sup>里川海にまつわる おはなし

## 和泉市 森と里山が舞台の 葛の葉伝説



獵師から白いキツネを助けた<sup>あべの やすな</sup>安倍保名は、白狐の化身の女性と夫婦となる。女性は子どもを産み、母となって里で幸せに暮らしていたが、子どもに正体を知られてしまい家族と別れ信太の森に帰ったという。

※ 諸説あります。

## 泉大津市 大津川の橋 にまつわるおはなし



泉大津と忠岡の間を流れる大津川の堤で、平家の武士が民家の戸板を楯として戦った。これが川にかかる盾並橋の由来になったという。

## 高石市 歴史書に登場する海



昼は大きな音を出し、夜は光り輝くクスノキが和泉の国の海に浮かんでおり、これで仏像を作った。この靈驗あらたかな木が流れ着いたのは、高石の海辺であるという。

